

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2018-46983 (P2018-46983A)

【公開日】平成 30 年 3 月 29 日 (2018.3.29)

【年通号数】公開・登録公報 2018-012

【出願番号】特願 2016-183827 (P2016-183827)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 19 日 (2019.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

設定値を表示可能な第 1 表示手段と、

管理情報を表示可能な第 2 表示手段と、

第 1 表示手段のセグメントを点灯させるための第 1 プログラムを少なくとも記憶した第

1 制御領域と、

第 2 表示手段のセグメントを点灯させるための第 2 プログラムを少なくとも記憶した第

2 制御領域と

を備え、

設定値が確認可能な所定の状態において、割込み処理によって、第 1 制御領域に記憶された所定プログラムと、第 2 制御領域に記憶された特定プログラムを実行可能とし、

第 2 表示手段は、第 1 表示部、第 2 表示部、第 3 表示部、及び第 4 表示部を有し、

第 1 表示部及び第 2 表示部により、管理情報として、所定の割合に関する情報を表示していることを示す所定の識別情報を表示可能とし、

第 3 示部及び第 4 表示部により、管理情報として、前記所定の割合に関する情報を表示可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、管理情報を表示可能とする遊技機に関するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

今般、遊技機（スロットマシン）のメイン制御基板に、有利区間割合等（管理情報）を表示可能な７セグを搭載することが検討されている。

一方、従来より、遊技機には、貯留数を表示する７セグや、獲得数を表示する７セグ等が設けられている。

このように７セグの数が増加したときに、管理情報を含む表示処理をどのように設計すべきかが問題となる。

本発明が解決しようとする課題は、管理情報を含む表示処理を適切に実行することである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

なお、本願の当初請求項に係る発明は、後述する当初発明１～４２のうち、当初発明３７に相当する。

本発明（第２０実施形態；図１２４）は、

設定値を表示可能な第１表示手段（設定値表示ＬＥＤ７３）と、

管理情報を表示可能な第２表示手段（有利区間表示ＬＥＤ７７）と、

第１表示手段のセグメントを点灯させるための第１プログラム（ＬＥＤ表示制御（Ｉ＿ＬＥＤ＿ＯＵＴ））を少なくとも記憶した第１制御領域（ＲＯＭ５４の使用領域）と、

第２表示手段のセグメントを点灯させるための特定プログラム（比率表示処理（Ｓ＿ＬＥＤ＿ＯＵＴ））を少なくとも記憶した第２制御領域（ＲＯＭ５４の使用領域外）と

を備え、

設定値が確認可能な所定の状態において、割込み処理（Ｉ＿INTR）によって、第１制御領域に記憶された所定プログラムと、第２制御領域に記憶された特定プログラムを実行可能とし、

第２表示手段は、第１表示部（デジット６）、第２表示部（デジット７）、第３表示部（デジット８）、及び第４表示部（デジット９）を有し、

第１表示部及び第２表示部により、管理情報として、所定の割合に関する情報を表示していることを示す所定の識別情報（情報種別）を表示可能とし、

第３表示部及び第４表示部により、管理情報として、前記所定の割合に関する情報（数値（比率））を表示可能とする

ことを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明によれば、第１表示手段に係る所定プログラムと第２表示手段に係る特定プログラムとを分けて記憶しておき、それぞれ所定プログラム及び特定プログラムの実行により第１表示手段及び第２表示手段の表示を行うので、プログラムの記憶や実行を効率よく行うことができる。

また、第２表示手段の異なる表示部を用いて識別情報と所定の割合に関する情報とを表示するので、表示内容の明確化を図ることができる。